

生徒育成方針

本校は、思いやりの「マインド」を大切にし、他者と協働して地域を担い、自らの人生を切り拓いていく人材を育てます。

○教育理念

「生きる力を求め、地域を担わんとここに学ぶ」

○教育目標

- ・共に生きる力を養う～自己理解・他者理解を深め、他者と共存していく力を高める
- ・夢をかなえる力を鍛える～問題解決能力とともに、社会性及び人格を向上させる
- ・地域と関わる力を育む～地域への関心を高め、理解し、積極的に関わる力を育成する

○卒業までに育てたい10の資質・能力キーワード

- | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|---------|
| 1「自主性」 | 2「思考力」 | 3「判断力」 | 4「表現力」 | 5「忍耐力」 |
| 6「規律力」 | 7「協調性」 | 8「認知力」 | 9「適応力」 | 10「郷土愛」 |

教育課程編成・実施方針

「学校」と「家庭」と「地域（同窓会・地域と共に歩む会・産官学）」が三位一体となって連携し、以下のような特色を持った教育活動を実施します。

○少人数クラス編成によるきめ細やかな指導体制の充実

3年間を通じてホームルームを少人数で編成し、一人ひとりの生徒に全職員で寄り添う。

○SST(ソーシャルスキルトレーニング)の導入

各学年で時間を設け、自己理解を深め、他者との良好な関係を築くための知識や技術の獲得。

○コース制による探究的学びの推進

3年次は共通の学習に加え、興味関心や進路希望に応じて2コース4系統から選択し、コース内容に沿って探究的に学ぶ。

《文理探究》

協働して課題を発見し解決する力、柔軟な科学的思考力・表現力の育成を目指すコース

《キャリア探究（ビジネス系・福祉系）》

実習等の実践的授業を通して、専門的な知識や技術、豊かな人間性を身につけるコース

○特色ある教科・科目の展開

1年次は、各教科で授業の最初に基礎学力の充実と規律の確立を行う。また、共通科目「福祉のこころ」により、入学当初から福祉マインドを創成する。

3年次では、「情報活用能力の育成」に関する科目を設定し、様々な情報を主体的に判断し、活用する能力を伸ばす。

○3年間を見通した地域課題解決型キャリア学習の展開

1年次「出会う」、2年次「探究する」、3年次「選択する」をテーマに、社会人となった時に必要となる基礎力（コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力、キャリアプランニング能力）を育成する。2年次「デュアルシステム」（総合的な探究の時間）を行う。

また、地元の「ヒト・モノ・コト」を活かし、他校（幼・小・中・高・大）との交流、福祉保育施設や企業と連携した学習・就業体験、ボランティア活動等の体験的活動を通して、地域の課題を見つけ、解決に向けて取り組む。

生徒募集方針

- 郷土を愛し、将来は良き担い手として地域を支えたいという思いを持った人
- 周囲と協力して自分自身を向上させ、前向きに努力を続けることのできる人
- 挨拶を心がけ、時間や生活のきまりを守ることのできる人